

横浜冷凍株式会社 証券コード2874

第77期(2024年9月期第2四半期)

決算説明会

人とおいしさのあいだに



- 1 . 2024年9月期第2四半期 決算実績
- 2 . セグメント別 決算実績
- 3 . 2024年9月期第2四半期 トピックス
- 4 . 2024年9月期 通期業績予想
- 5 . 持続可能な社会へ –サステナビリティへの取り組み–
- 6 . APPENDIX

1

2024年9月期第2四半期 決算実績

Financial Summary for FY2024 2Q

1. 2024年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2024年9月期第2四半期 トピックス
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

売上高は減収ながら営業利益は大幅増益

売上高

620.2億円

前年同期比
△2.0%

営業利益

27.9億円

前年同期比
+64.7%

- 冷蔵倉庫事業
 - 堅調な需要により保管料収入および荷役料など増加し増収・増益
 - タイの連結子会社においても取扱量が増加し、増益に貢献
- 食品販売事業
 - 水産品は利益重視の販売の取組により減収ながらも増益
 - 畜産品は取扱量が増え、前年同期比で大幅増益

- 売上高620億円(前年同期比△2.0%)、営業利益27.9億円(前年同期比+64.7%)の**減収増益**

(単位:百万円)

	23/09期 第2四半期	24/09期 第2四半期	前期比		24/09期上期予想	
			増減額	増減率	上期業績予想	達成率
売上高	63,271	62,025	△1,245	△2.0%	68,280	90.8%
売上総利益	6,069	7,187	1,118	18.4%	—	—
売上総利益率	9.6%	11.6%	2.0pt	-	—	—
営業利益	1,697	2,795	1,097	64.7%	2,050	136.4%
営業利益率	2.7%	4.5%	1.8pt	-	—	—
経常利益	1,992	2,371	378	19.0%	2,150	110.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,190	1,644	454	38.2%	1,400	117.5%
設備投資額	5,517	15,915	10,398	188.5%	—	—
減価償却費	3,139	3,379	240	7.6%	—	—
E B I T D A	4,837	6,174	1,337	27.6%	—	—
自己資本比率	43.0%	41.2%	△1.8pt	-	—	—

連結貸借対照表

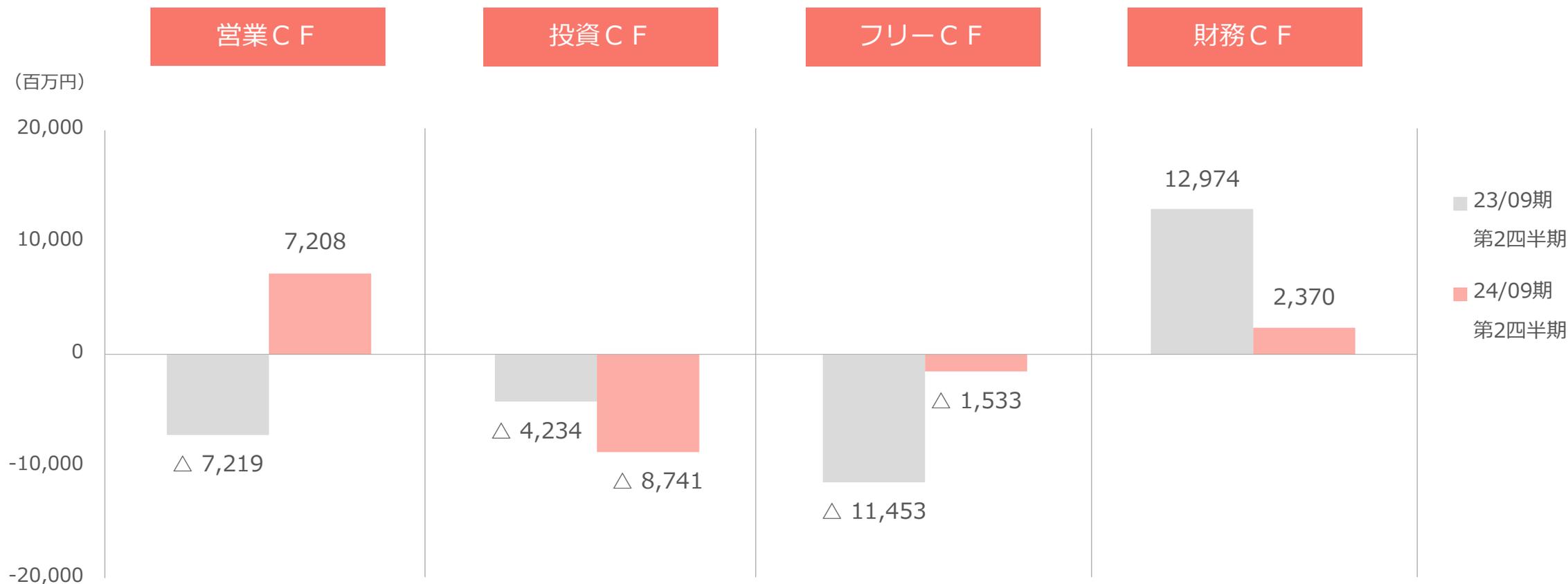
- 有形固定資産の増加は「恵庭スマート物流センター」「夢洲第二物流センター」竣工が主な要因
- 流動負債のその他の増加は、設備関係支払手形、設備関係未払金が主な要因

(単位:百万円)

資産				負債・純資産			
	23/09期末	24/09期 第2四半期	増減		23/09期末	24/09期 第2四半期	増減
流動資産	46,179	47,048	869	流動負債	38,777	55,928	17,151
受取手形及び売掛金	20,002	18,939	△1,063	支払手形及び買掛金	4,871	6,047	1,175
商品	17,935	17,895	△40	1年以内償還予定の社債	-	10,000	10,000
短期貸付金	870	642	△227	その他	5,099	12,770	7,671
固定資産	151,516	163,585	12,069	固定負債	71,583	66,440	△5,142
有形固定資産	101,168	113,475	12,306	長期借入金	38,586	43,338	4,751
投資有価証券	42,264	42,434	170	純資産	87,334	88,264	929
総資産	197,695	210,633	12,938	負債及び純資産	197,695	210,633	12,938

連結キャッシュフロー計算書

- 営業CF：主に売上債権・棚卸資産の減少により、前期比で増加
- 投資CF：主に固定資産の取得による支出により減少
- 財務CF：主に資金の長期借入により増加



2

セグメント別 決算実績

Segment Result

1. 2024年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2024年9月期第2四半期 トピックス
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

セグメント別 損益

- 冷蔵倉庫事業：需要増により在庫量、出庫量、在庫量ともに順調に前期を上回り**増収・増益**
- 食品販売事業：水産物は利益重視の販売の取組により減収ながらも**増益**
畜産物は外食需要が増加したことにより取扱量が増え**増収・増益**

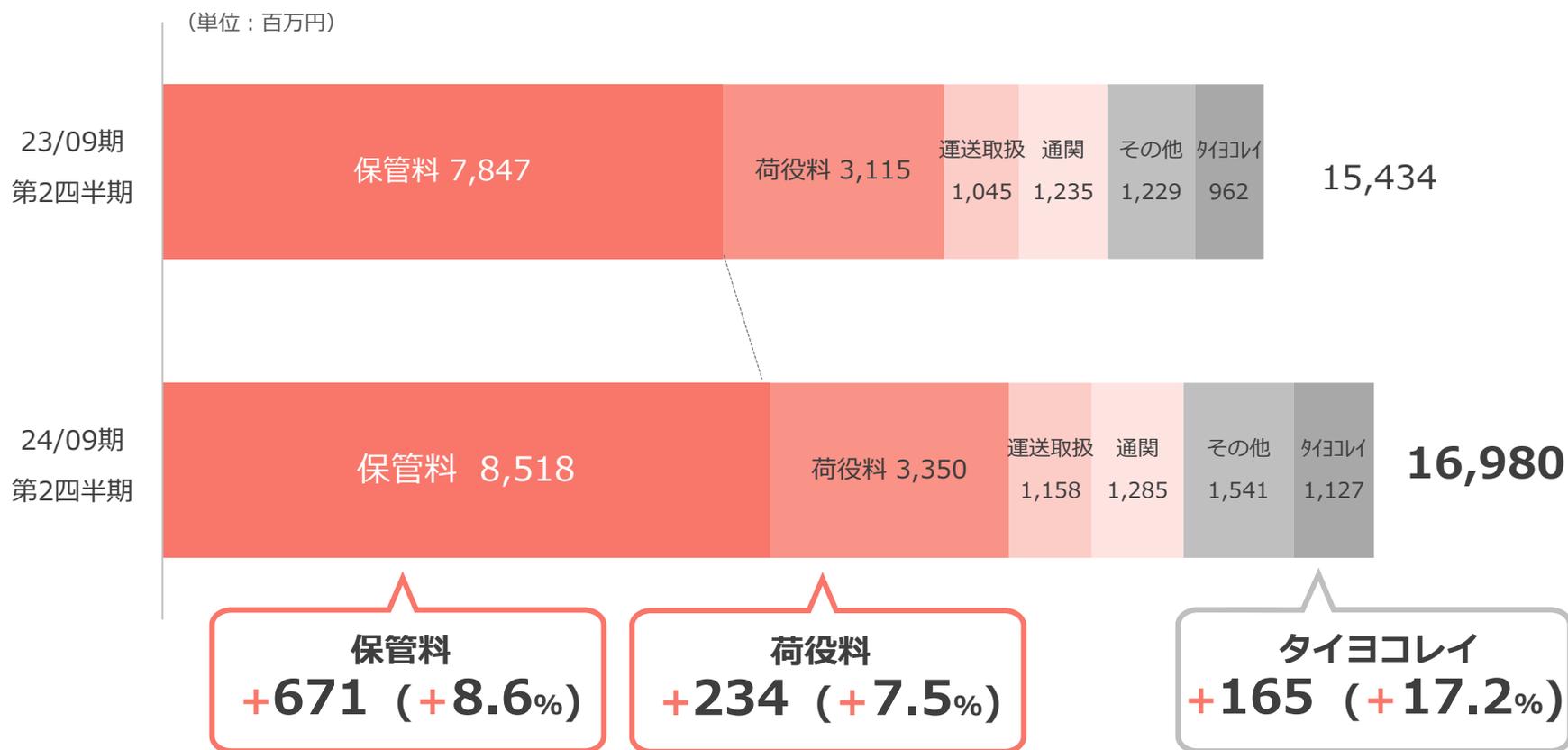
(単位:百万円)

	23/09期 第2四半期	24/09期 第2四半期	前期比		24/09期予想	
			増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	63,271	62,025	△1,245	△2.0%	139,000	44.6%
冷蔵倉庫事業	15,434	16,980	1,546	10.0%	33,950	50.0%
食品販売事業	47,807	45,015	△2,792	△5.8%	105,000	42.9%
その他	28	29	1	3.5%	-	-
セグメント利益	3,738	4,776	1,038	27.8%	-	-
冷蔵倉庫事業(※)	3,253	3,969	715	22.0%	6,650	59.7%
食品販売事業(※)	470	798	328	69.8%	1,950	40.9%
その他(※)	14	9	△5	△36.6%	-	-

※ 各セグメントの営業利益は、配賦不能営業費用（管理部門にかかる費用）の控除前です。

冷蔵倉庫事業 - 売上高分析 -

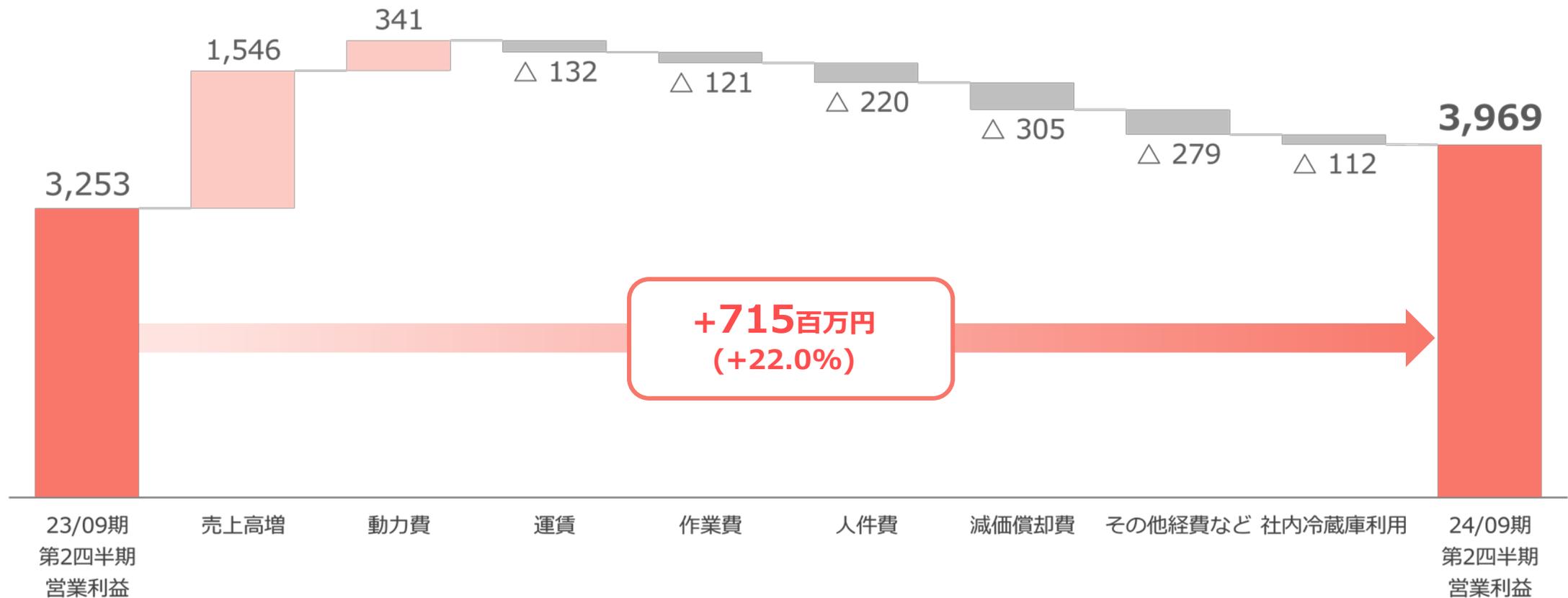
- 前期からの高い在庫水準が続き、保管料収入、荷役料収入、関連する運送取扱収入、通関取扱収入も増加。コスト上昇分の料金改定も進み**増収**
- タイの連結子会社においても、主力取扱品である畜産品、乳製品の取扱量が増加し、**増収**



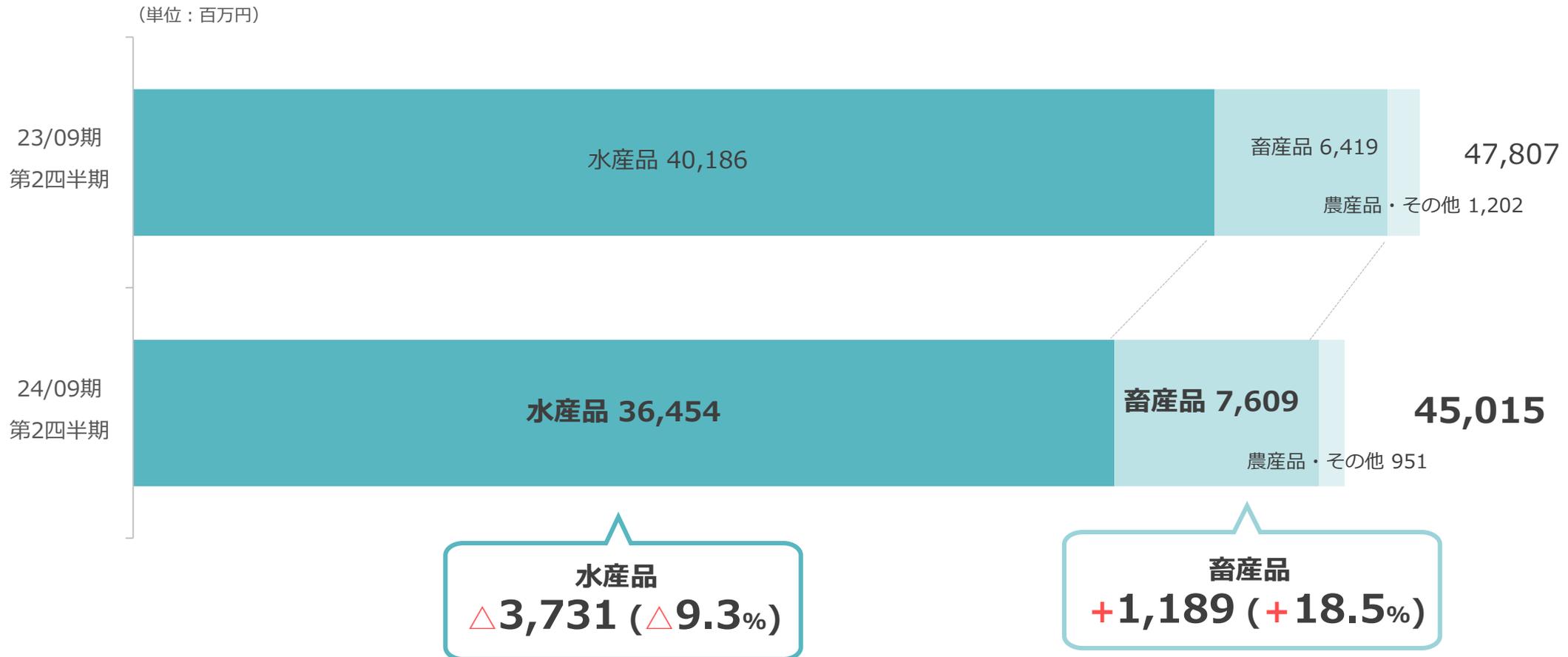
貨物の取扱状況 (前年同期比)	
入庫取扱量	+2.7%
出庫取扱量	+3.3%
平均保管在庫	+1.6%
平均保管単価	+6.7%

- 堅調な需要増による売上高1,546百万円の大幅増収により、減価償却費や人件費等高騰がありつつも715百万の増益

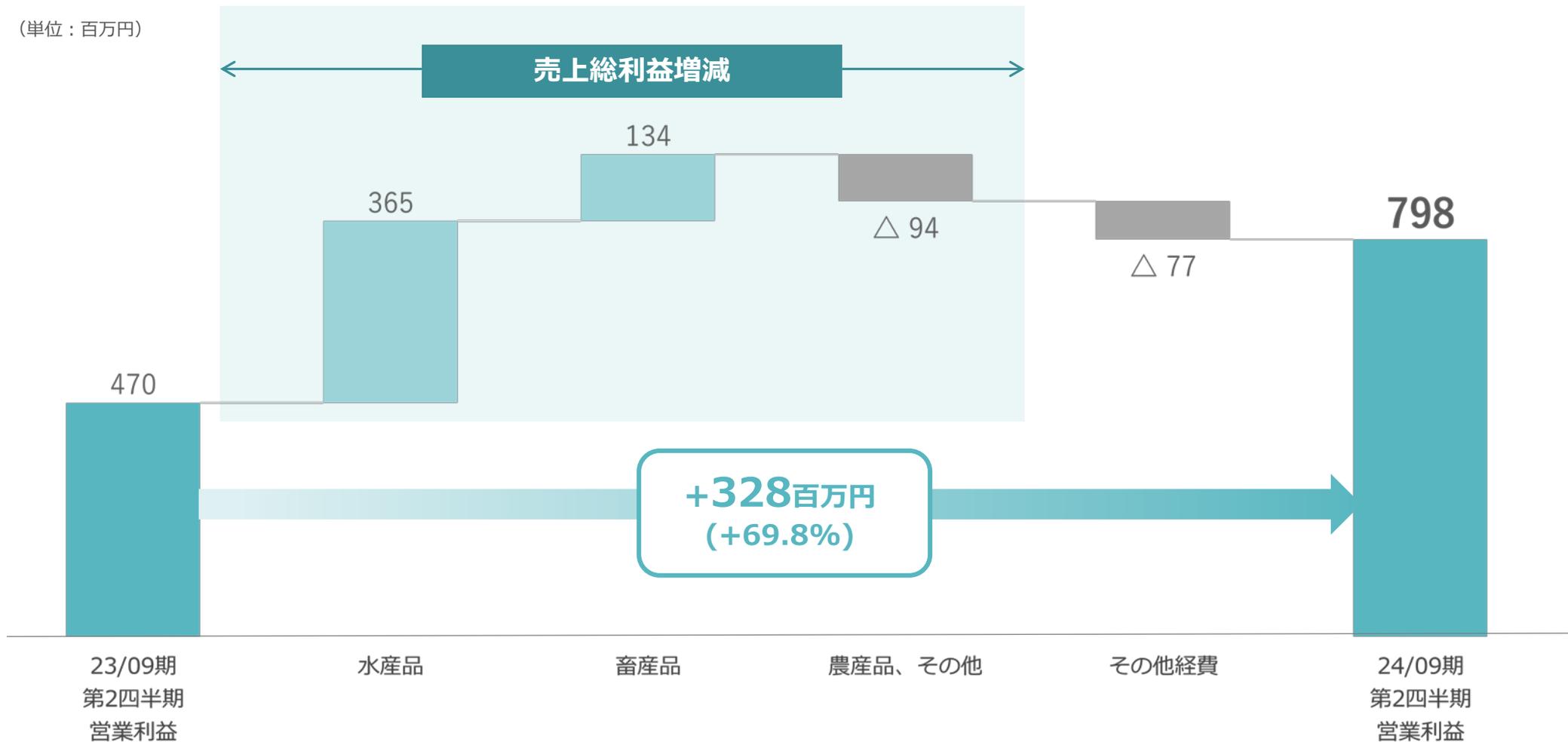
(単位：百万円)



- 水産品： マグロ、カツオ、カレイ等は取扱い量・売上高とも増加した一方、イカ、ホタテは取扱い量・売上高ともに減少し減収
- 畜産品： ポーク、チキンともに取扱い量が増え増収



- 水産品の大幅増益および畜産品の増益により、セグメント利益は328百万円の大増益



3

2024年9月期第2四半期 トピックス

FY2024 2Q Topics

1. 2024年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2024年9月期第2四半期 トピックス
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

2024年に恵庭スマート物流センター、夢洲第二物流センター、箱崎FACILITY物流センターが竣工

業界環境：老朽化・冷媒フロン規制・冷凍食品(かさ高貨物)増加 → 冷蔵庫不足

冷蔵倉庫拠点

2023年末
国内 **50**カ所
海外(タイ) **5**カ所

2024年
竣工

2025年
竣工予定

2024年2月
北海道内で要衝の地

恵庭スマート物流センター



2024年2月
大阪・関西万博が行われる夢洲地区「夢洲物流センター」に隣接し竣工

夢洲第二物流センター



2024年4月
箱崎物流センター跡地に新設
博多港における需要に対応

箱崎FACILITY物流センター



- 当社初ベトナム進出
ベンルック物流センター
(仮称)

- 北海道地区
第8の物流拠点
十勝第四物流センター
(仮称)

- 中国・四国地方の要衝
岡山物流センター
(仮称)

- ✓ 省人化・省力化に特化し、太陽光発電設備やリチウムイオン蓄電池を導入した最新鋭の設備を導入
- ✓ BCP対策強化

2023年10月27日付

AEO制度に基づく「認定通関業者」としての認定を取得

A E O 通関業者制度とは

貨物のセキュリティ管理とコンプライアンス体制（法令順守）が整備された事業者に対して、税関手続の緩和や簡素化策を提供する制度



2024年4月1日

業務の更なる拡大と顧客ニーズに対応するため、中京・東海エリアに**名古屋通関部**を開設

通関事業部門

東京通関部	横浜通関部	大阪通関部
神戸通関部	九州通関部	NEW 名古屋通関部

今後の取組

1. 開設した名古屋通関部の本格稼働
2. 保管、運送、ドレージなどの付加価値業務の取扱強化
3. AEO認定の適正運営と制度活用
4. 業務効率化、次期NACCS対応等、デジタル化の推進

**A E O 認定通関業者として、これからも国際物流の円滑化を図るとともに、
食の安全・安心の確保に努め高品質なスマートコールドサービスを提供していく**

4

2024年9月期 通期業績予想

Earnings Forecast for FY2024

1. 2024年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2024年9月期第2四半期 トピックス
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX

2024年9月期 通期業績予想（変更なし）



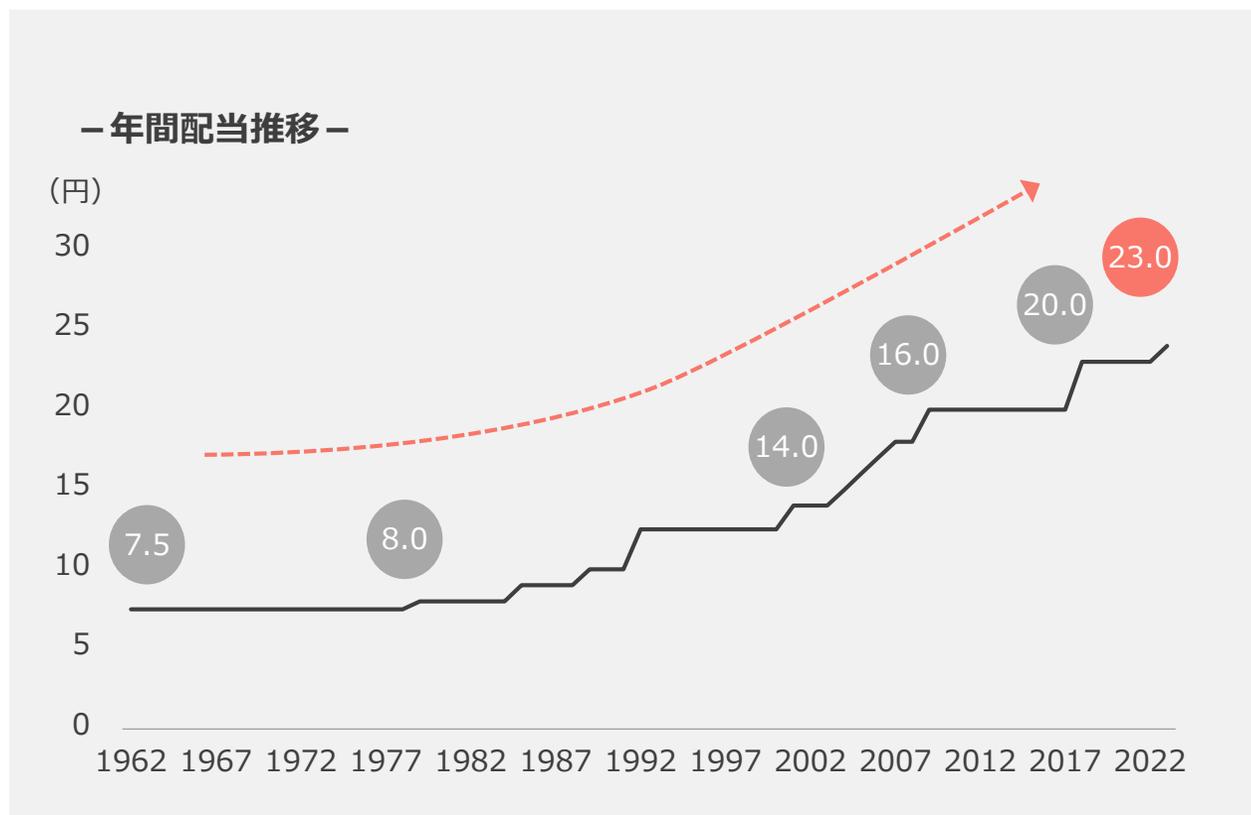
- 通期の見通しは期初予想据え置き
- 冷蔵倉庫事業は堅調な需要増、食品販売事業は国内相場が安定してきたこと等により、予想達成を目指す

(単位:百万円)

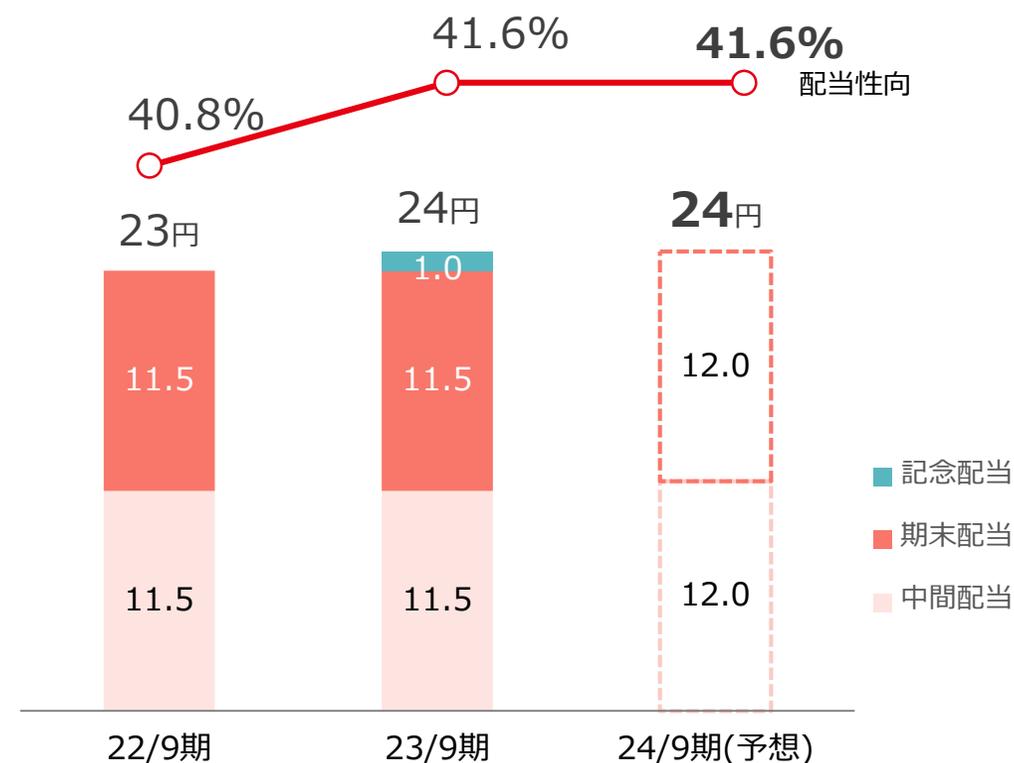
	24/09期 第2四半期実績	24/09 期 上期予想		24/09期 通期予想	
		上期予想	達成率	通期予想	進捗率
売上高	62,025	68,280	90.8%	139,000	44.6%
冷蔵倉庫事業	16,980	—	—	33,950	50.0%
食品販売事業	45,015	—	—	105,000	42.9%
営業利益	2,795	2,050	136.4%	4,550	61.4%
冷蔵倉庫事業	3,969	—	—	6,650	59.7%
食品販売事業	798	—	—	1,950	40.9%
配賦不能費用他		—	—	4,100	—
経常利益	2,371	2,150	110.3%	4,750	49.9%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	1,644	1,400	117.5%	3,050	53.9%
減価償却費	3,379	—	—	7,041	—

着実な成長と累進配当

1962年の東証二部上場以来、半世紀以上増配を継続



24/9期予想 年間 **24円**



持続可能な社会へ

－サステナビリティへの取り組み－

For the sustainable society

経営理念

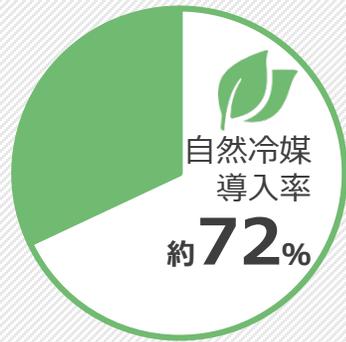
「会社は社会の公器であり、利益は奉仕の尺度である」

1. 2024年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2024年9月期第2四半期 トピックス
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
－サステナビリティへの取り組み－
6. APPENDIX

環境に配慮した 自然冷媒による冷却システム

業界でもいち早く冷媒をフロンから、
環境にやさしい自然冷媒（NH3、CO2）
へ切り替え

業界トップクラス



太陽光発電システム によりCO2を削減

冷蔵倉庫で太陽光発電システムが稼働



物流センターの屋上に設置された太陽光発電
モジュール

省エネな冷蔵倉庫

業界平均より電力使用が
8% 少ない

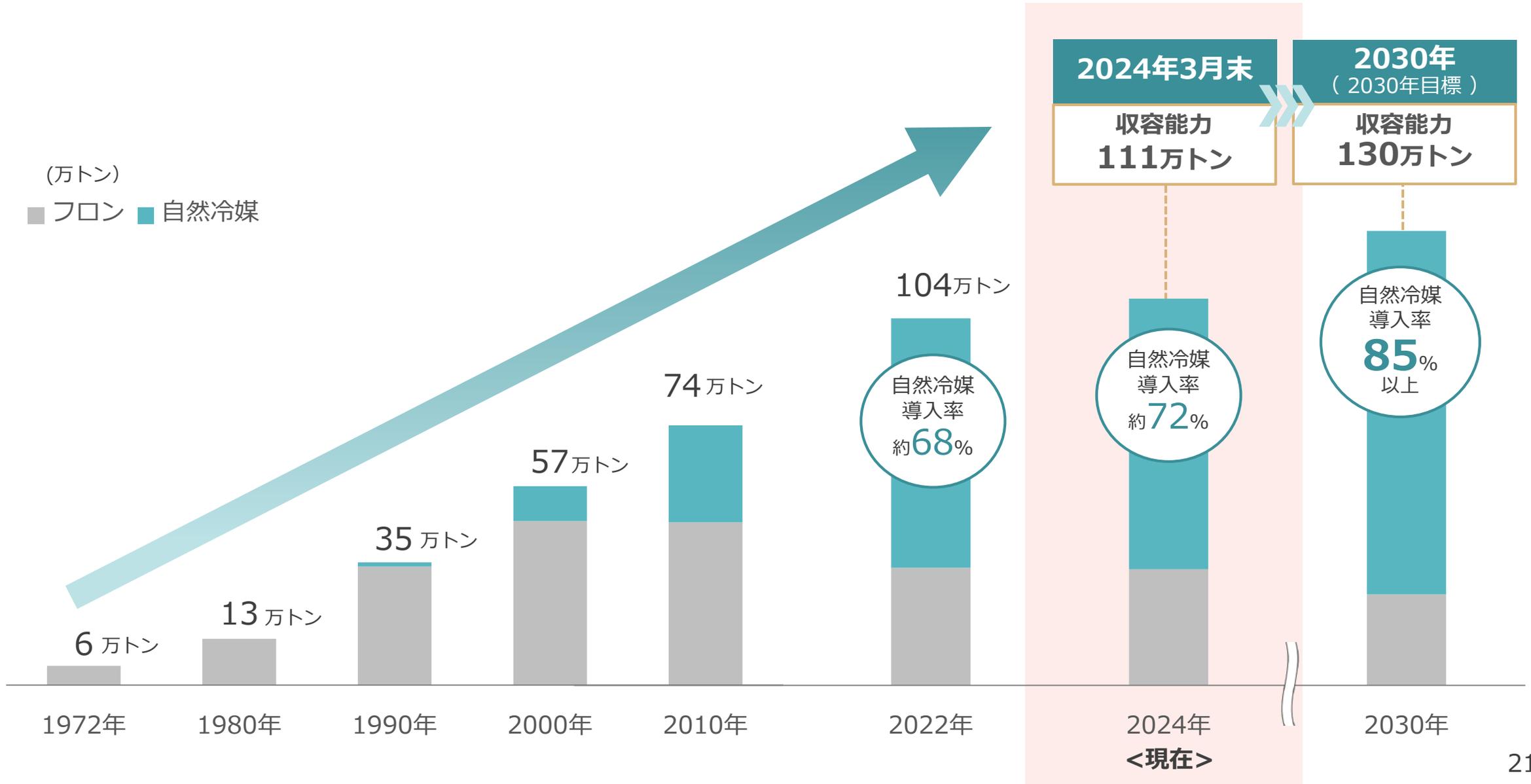
収容能力1000トンあたり
の電気の使用量

業界平均：162 MWh
当社：**149** MWh

日本冷蔵倉庫協会
冷蔵倉庫実態調査 2022年版 より

✓ 自然環境・地球にやさしい物流を実現 ✓ 電気料金高騰の影響が業界平均よりも少ない
温室効果ガスのサプライチェーン排出量を意識する顧客に選ばれる冷蔵倉庫へ

環境配慮NO.1 自然冷媒の割合と冷蔵収容能力



省人化 & 自動化

省人化・自動化システムの導入



- 作業用ロボットを使用したデバンパレタイズシステム（DPS）を導入
- 荷下ろし後の貨物のパレットへの積み上げ、フィルム梱包までの一連の作業を完全に自動化

- カーゴナビゲーションシステム
- 入出庫作業を大幅に効率化



- トラック予約受付システム
- トラックの長時間待機問題の解決に向けた取り組み



ダイバーシティ

ダイバーシティへの取り組み



- 女性・外国籍の活躍
- キャリア継続を支援
- 働きやすい職場づくりの推進

働き方改革

スマートオフィス



- 事務作業が遠隔でできるスマートオフィスを開設
- 通勤時間の短縮、および複数事業所の業務を一括集約処理することで少人数での効率的な事務処理が可能に

地域貢献

スポンサー活動による地域貢献



- 地域スポーツクラブの支援
- 日本将棋連盟「研修会」運営の支援
- えのすいecoサポーターとして
新江ノ島水族館の エコ活動に協賛

社会貢献活動

全国食支援活動協力会へ保管場所を提供



東京羽田物流センターで、全国食支援活動協力会のミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム (MOWLS) の中核ロジ拠点として保管場所の提供を開始



- MOWLSとは、全国のこども食堂等の「居場所」に集う子どもから高齢者等すべての人が食事を得られる環境をサポートするシステム

中核ロジ拠点



県域もしくは複数県域分の寄贈食品の保管機能をもった倉庫

- MOWLSは支援者からの寄贈が効率的に運搬・仕分け・分配されることで支援者の負担を軽減し、活動者への支援が充実することを旨とする

社会貢献活動

寄付・協賛金による支援

『Sweet heart project』への寄付・支援

- ハンディキャップを抱える人々が福祉施設でお菓子作りを行う活動を支援する団体『Sweet heart project』への寄付・支援
このお菓子を当社のイベントやお客様へのお土産として活用することで同活動を応援



6

APPENDIX

SOURCE BOOK

1. 2024年9月期第2四半期 決算実績
2. セグメント別 決算実績
3. 2024年9月期第2四半期 トピックス
4. 2024年9月期 通期業績予想
5. 持続可能な社会へ
ーサステナビリティへの取り組みー
6. APPENDIX



ヨコレイ本社 (横浜コネクトスクエア10F)

会社名	横浜冷凍株式会社		
本社所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目3番3号 横浜コネクトスクエア10F		
設立	1948年5月13日		
代表者	取締役会長	吉川俊雄	
	代表取締役社長	古瀬健児	
資本金	14,303百万円		
事業拠点	冷蔵倉庫事業	国内52	海外5
	通関事業	国内5	
	食品販売事業	国内24	海外1
従業員数	連結	1,645名	単体 1,312名
上場証券取引所	東証プライム (証券コード 2874)		

※2024年3月31日現在

• 業界比較 品目別入庫 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

品目別入庫実績		2023年9月期 第2四半期	2024年9月期 第2四半期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	100 (10.5%)	101 (10.5%)	1 (0.0pt)	1.0%
	日冷倉12都市	951	964	13	1.4%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	237 (11.4%)	241 (11.6%)	4 (0.2pt)	1.7%
	日冷倉12都市	2,081	2,074	△7	△0.3%
農産品	ヨコレイ (シェア)	102 (17.0%)	108 (16.9%)	6 (△0.1pt)	5.9%
	日冷倉12都市	600	638	38	6.3%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	265 (11.1%)	272 (11.4%)	7 (0.2pt)	2.6%
	日冷倉12都市	2,382	2,393	11	0.5%
合計	ヨコレイ (シェア)	704 (11.7%)	722 (11.9%)	18 (0.2pt)	2.6%
	日冷倉12都市	6,014	6,069	55	0.9%

• 業界比較 品目別月末在庫累計 (セグメント外取引含まず)

(単位:千トン)

品目別在庫累計		2023年9月期 第2四半期	2024年9月期 第2四半期	前年同期比	
				増減	増減率
水産品	ヨコレイ (シェア)	483 (14.7%)	500 (15.7%)	17 (0.9pt)	3.5%
	日冷倉12都市	3,277	3,194	△83	△2.5%
畜産品	ヨコレイ (シェア)	617 (12.9%)	612 (13.2%)	△5 (0.4pt)	△0.8%
	日冷倉12都市	4,791	4,626	△165	△3.4%
農産品	ヨコレイ (シェア)	528 (33.0%)	571 (32.3%)	43 (△0.7pt)	8.1%
	日冷倉12都市	1,599	1,766	167	10.4%
冷凍食品他	ヨコレイ (シェア)	357 (12.7%)	330 (11.5%)	△27 (△1.1pt)	△7.6%
	日冷倉12都市	2,819	2,863	44	1.6%
合計	ヨコレイ (シェア)	1,984 (15.9%)	2,013 (16.2%)	29 (0.3pt)	1.5%
	日冷倉12都市	12,486	12,449	△37	△0.3%

• 主要品目別 売上数量・金額・単価（連結ベース）

（単位：数量=トン・金額=百万円・単価=円）

主要品目	2023年9月期 第2四半期			2024年9月期 第2四半期			前年同期比		
	数量	金額	単価	数量	金額	単価	数量	金額	単価
ポーク	6,748	3,369	499.3	7,812	4,204	538.2	1,064	835	38.9
チキン	5,286	2,105	398.3	6,150	2,423	394.1	864	318	△4.2
ビーフ	897	885	987.3	824	917	1,113.9	△73	32	126.6
鮭 鱒	4,610	5,269	1,143.1	4,909	4,680	953.4	299	△589	△189.7
ホタテ	2,808	3,647	1,298.9	1,739	2,461	1,415.7	△1,069	△1,185	116.8
サバ	20,802	4,825	232.0	20,030	5,015	250.4	△772	189	18.4
エビ	2,494	3,098	1,242.2	2,313	2,803	1211.9	△181	△295	△30.3
カニ	249	736	2,958.8	121	305	2,523.7	△128	△431	△435.1
イカ	10,591	4,828	455.9	4,047	2,532	625.7	△6,544	△2,296	169.8
ホッケ	4,462	1,508	338.2	3,631	1,648	454.0	△831	139	115.8
ウナギ	476	1,646	3,459.8	556	1,990	3,579.9	80	343	120.0



人とおいしさのあいだに

おいしさは、ココロを満たす
おいしさは、カラダをつくる
すべての人を幸せにするみなもと

食により添い、食を豊かにする
かかせない存在として、
私たちはこれからもずっと
そのおいしさを守り続けていきます

冷蔵倉庫と食品販売
ふたつの事業で日本へ、世界へ
人のために食をつなぐ使命を果たします

生産地から食卓まで、
食にかかわる人たちの
ほほえみもつないでいく

人とおいしさのあいだに
ヨコレイ

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものをご理解ください。

当社の事前の承諾なしに、本資料に掲載されている内容の複製、転載等を行うことを禁止します。



◀ 横浜冷凍(株)ホームページは
こちらをスキャン

お問い合わせ先

横浜冷凍株式会社 広報 I R 部

TEL: 045-210-0011

E-mail: info@yokorei.co.jp

URL : <https://www.yokorei.co.jp/>